



今月号

2016年

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 	3 	4 	5 	6	7 	8
9 	10	11	12	13	14 ★作文倶楽部 土曜日クラス	15
16 	17	18	19	20	21 ★作文倶楽部 土曜日クラス	22
23/30 	24/31	25	26	27	28 ★作文倶楽部 土曜日クラス	29

☆ 4月24日(日)～5月5日(木)まで、全ての授業はお休みです。

☆ キッズラボの授業につきましては、別途お渡ししましたカレンダーをご覧ください。



は、休塾日です。

お問い合わせ

月	火	水	木	金	土	日
						1 
2 	3 	4 	5 	6	7	8 ☆キッズラボ 月1回クラス
9 	10	11	12	13	14 ☆キッズラボ 月1回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 土曜日クラス	15 
16 	17	18	19	20	21 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 土曜日クラス	22 
23/30 	24/31	25	26	27	28 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 土曜日クラス	29 

☆ 4月24日(日)～5月5日(木)まで、全ての授業はお休みです。

☆ キッズラボの通常授業は8日(日)から始まります。



は、休塾日です。

お問い合わせ

5月のご案内

地球応援団！COSMOS 夏キャンプ

夏は毎年、2泊3日のスペシャルバージョンで実施している「地球応援団！COSMOS」の夏キャンプの日程とテーマが決まりました。2015年度の夏キャンプは、8月10日（水）・11日（木）・12日（金）の3日間です。

テーマは「広大な日本海！」。海に囲まれた島国である日本。その中でも、透明度が高くたくさんの魚が生息する日本海を舞台に、ドキドキ・ワクワク待ちきれないほどの盛りだくさんの内容をご用意しています。お楽しみに！！



☆詳しい内容は5月下旬にチラシを配付します。

シーガルスクール 夏期特別講座・イベント

シーガルスクールの夏には、スペシャルがいっぱい。読書感想文を2日で仕上げる講座や、夏休みの自由課題にお勧めのキッズラボサマーセミナー、大好評のキッズラボ×作文倶楽部コラボイベントなどの講座をたくさん企画しています。シーガルスクールの特別講座・イベントで、夏の成長に磨きをかけてみませんか？詳しくは、5月末にご案内させていただきます。



水筒の持参について

少しずつ、暑い日が増えてきました。授業の際には水筒（水やお茶など）をお持ちいただいても結構ですので、授業前、休み時間などにルールを守って水分補給を行ってください。



地球応援団！COSMOS ちびキャン日程変更について

夏休みに実施する1・2年生参加の地球応援団！COSMOS Act.3「ちびキャン」の日程を年間カレンダーより変更させていただきます。

【変更前】7/20（水）・21（木） → 【変更後】7/25（月）・26（火）

☆詳しい内容は6月上旬にチラシを配布します。

2020 年に必要な英語力

ご存知でしょうか。2020 年、日本の教育は大きく変わります。

センター試験が廃止され、偏差値評価以外の多くの『壁』が子どもたちの前に立ちはだかります。その中でもセンター試験に代わるものとして「大学希望者評価テスト（仮称）」があります。これは国語・数学等、科目別の試験となりますが、問われる内容がセンター試験とは大きく違います。その中で今回は英語について紹介します。

これまでのセンター試験では、大きく分けて筆記（200 点満点）とリスニング（50 点満点）に分かれており、筆記では語彙力・文法・長文読解を問われてきました。つまり、英語を「読むこと」と「聞くこと」が出来ていれば、センター試験では有利となっていたのです。しかし、2020 年から実施される予定の「大学希望者評価テスト（仮称）」では、英語において以下のような能力が評価されるべきだと言われています。

例えば、

多様な見方や考え方が可能な幅広い話題・問題に関する情報を聞いたり英文や図表などを読んだりして、情報を整理しながら概要や要点を把握し、得られた情報を統合するなどして活用しつつ、様々な見方や考え方の共通点や相違点等を示しながら、自分の考えや主張を適切な語彙、表現、文法等を用いて効果的に伝えること。

文部科学省「高大接続システム改革会議（第 9 回）」（平成 27 年 12 月）配付資料より

つまり、センター試験で問われる「読むこと」「聞くこと」に加え、「伝えること＝話すこと・書くこと」が求められてくるというのです。また、その伝える内容も、決まった解答を答える問題のみならず、様々な見方や考え方が出来る時事問題や社会問題などについて、自分の意見や考え方を、論点や根拠を明確にしながら、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的に表現する力が求められるのです。

「大学希望者評価テスト（仮称）」は、英語を知っているだけではもう太刀打ち出来ない試験になろうとしています。大切なのは、自分の考えを伝えること、相手が言いたいことや文章が伝えたいことを的確に感じ取ること、つまり総合的なコミュニケーション能力と論理的に考える思考力なのです。

このような大きな教育改革が行われようとしている中、シーガルスクールでは開校以来、子どもたちのコミュニケーション能力・論理的思考力を伸ばす教育に取り組んできました。

SSK では筆者や他者の主張を読み取り、それに対して自分の意見を述べること。
シーガル作文倶楽部では自分の頭の中に思い描いたことを文章にして表現すること。
キッズラボでは予想を立て、実験し、目の前の結果から論理的に結論を導くこと。

子どもたちにこのような力が備わった後に、ようやく英語というツールが意味を成すようになるのです。そしてシーガルスクールでは Lepton で子どもたちが気持ちを込めて自分の言葉を英語で伝えられるように、背中を押しています。

偏差値教育が横行している今の子どもたちにとっては、コミュニケーション能力や論理的な思考力を問われる新しい大学入試制度は、大きな『壁』と感ずるかもしれません。しかし、急速なグローバル化の進展の中で、言語や文化が異なる人々とコミュニケーションを取り、協働していくために、子どもたちにはこのような力が求められているのです。子どもたちの前に立ちはだかるこの『壁』は、本当は『壁』ではなく大きな『階段』なのかもしれません。この『階段』を登りきれば、きっとその先には広い世界が見渡せるはずで、そして、シーガルスクールでは、今までもこれからも、子どもたちに 2020 年の『階段』を登る準備をしていきます。

子どもたちが広い世界に羽ばたくその日を楽しみに。